

# 青少年だより

## 掛川市補導員が、市内を巡回しています

今年度の掛川市青少年補導センターの補導員は、総勢52人です。

専任補導員19人は、年間計画の下で24回の定期補導と納涼祭や祭典の特別補導を実施しています。

また、各地区から選出していただいた地域補導員33人は、中学校区ごとに年4回地域補導に従事していただいております。

どちらも夕方から夜にかけて、市内の公園やコンビニなど、青少年が集まりそうな場所を巡回して、市内の青少年に声掛け活動をしていただいております。

市民の皆様には、青少年の健全育成のために掛川市補導員が頑張っていることを御理解いただき、是非とも応援をお願いします。



## 7/3(月)、「街頭キャンペーン」を実施しました

7月は社会を明るくする運動、並びに青少年の非行・被害防止強調月間です。本年度も、「犯罪や非行の防止と立ち直り、及び青少年の非行・被害防止について市民の理解を深める」、「関係機関と市民が相互に協力し合い、地域が一体となって犯罪や青少年の非行・被害防止のために取り組む」ことを目的として、街頭キャンペーンを実施しました。

7月3日(月)、副市長を始め、行政関係者、福祉関係者、各地区役員、学校関係者など、約100人が掛川駅、および大東・大須賀地区の商業施設の計3か所に分かれ、啓発グッズを手渡ししながら子どもたちを犯罪被害から守る環境づくりを訴え、青少年の健全育成を呼びかけました。それぞれの会場では、買い物客や帰宅を急ぐ方などが、立ち止まって啓発品を手にする様子が多く見られました。



掛川駅会場



大須賀会場



大東会場

## 県内一斉夏季少年補導・立入調査

7月に、県内一斉夏季少年補導・立入調査を実施しました。この活動は、「青少年の非行を未然に防止し、地域の実態に即した環境整備に努めること」を目的として、例年夏と冬の2回行っています。

市の専任補導員と補導センター職員で、ゲームセンターやカラオケ店、ネットカフェ、コンビニ、携帯ショップなど延べ約30カ所を回り、県条例に沿った適正な営業が行われているかを確認しました。結果、どの店舗も概ね適正に営業がされていることがわかりました。

## だまされないで！ ネット社会 に潜む罠(わな)

県民だよりより引用

平成25年度から減少していた青少年の検挙・補導数は、昨年度比で増加に転じ、15人増えて760人となりました。(県警調べ)

その内訳は、児童買春、児童ポルノ法に触れるものが大半を占め、軽犯罪や大麻所持の事案も目立っています。いずれも WEBサイトやSNSを通じた希薄な関係性から引き起こされるケースが多く、一度関わると抜け出せなくなる傾向にあります。

実際に起こった犯罪や被害の一例を紹介します。



<p><b>1 性被害・犯罪</b></p> <p>SNS で知り合った相手が同年代の同性だと思い込み、仲良くなり自撮り写真のやり取りをしていたら、年上の異性だと分かった。裸の写真を送ってしまったことで、誰にも相談できなくなり困っている。</p>	<p><b>2 大麻・違法薬物</b></p> <p>ネット上の情報「大麻は安全で害がない」、「海外では合法である」を信用してしまい、友人に誘われて吸ってしまった。それから断り切れなくなり、常習化となった。</p>	<p><b>3 闇バイト</b></p> <p>ネット掲示板に「日給10万円」の求人があり、応募したところ、特殊詐欺の受け子だった。身分証を提出したため、「家族に危害を与える」と脅されて抜け出せなくなった。</p>
---	---	---

## そこで…… 家族で、自分で 犯罪・被害を未然に防止！

- (1) スマホ、タブレットは保護者がフィルタリングする
- (2) 性的な写真は撮らない、絶対に送らない
- (3) ネットでの出会いに用心する

困ったら…  
些細なことでも、悩まずに電話を

例えば…警察専用相談電話

# #9110

様々な相談を受け付けています。一人で悩まないで電話をおかけください！  
 青少年補導センター(市教育委員会内) 電話：0537-21-1189  
 相談時間：(火～金) 9:00～12:00 13:00～16:00